



— 町のスローガン —

豊かな自然みんなで

拓く町 伸びる町

- 医療費と保険税を考える…………… 2
- 「無火災」を記録 / 消防出初式… 5
- 転作は8割緩和 / 60年の転作…… 6
- まちの話題…………… 8



広報

郷愁を呼ぶ「しめ縄張り」

2月3日は「節分の日」。各家庭では豆をまき、悪病や魔物払いの呪いごとをする光景も見られることですが、この「しめ縄張り」も無病息災を祈願する、古くからの年中行事のひとつです。いまではあまり見られなくなりましたが、「ふるさと志向」が高まる今日、郷愁を呼ぶ良き風習として後世に残したいものです。(写真・葎沢で…)

2月

いがしゆり

No. 359

題字 / 佐々木青洋氏（東由利町出身）



病気の早期発見と、 早期治療で支えよう

ふくしま医療費・保険税

近年、医療費の大幅な改定はありませんでしたが、医療費は上昇の傾向にあり、これまで国民健康保険税（国保）は財政調整基金の活用などで、ほぼ横ばいの状態を堅持してきました。しかし、昨年新設された退職者医療制度による国の補助金の減額改正で、来年度の保険税が大幅に増額となることが予想されており、これに対応するためには、医療費をこれ以上増やさないことが最大の課題となっています。

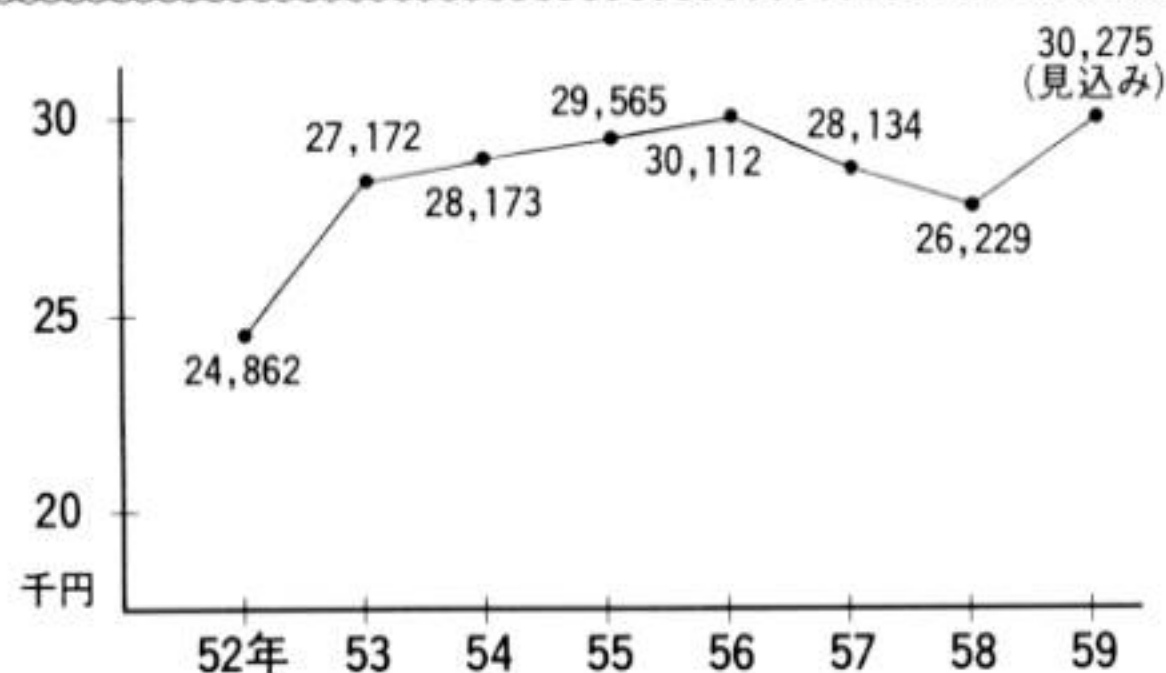
今号では、医療費の実態と昨年行った検診の状況を見ながら、これらの問題を考えてみたいと思います。

医療費

1人に11万3千円

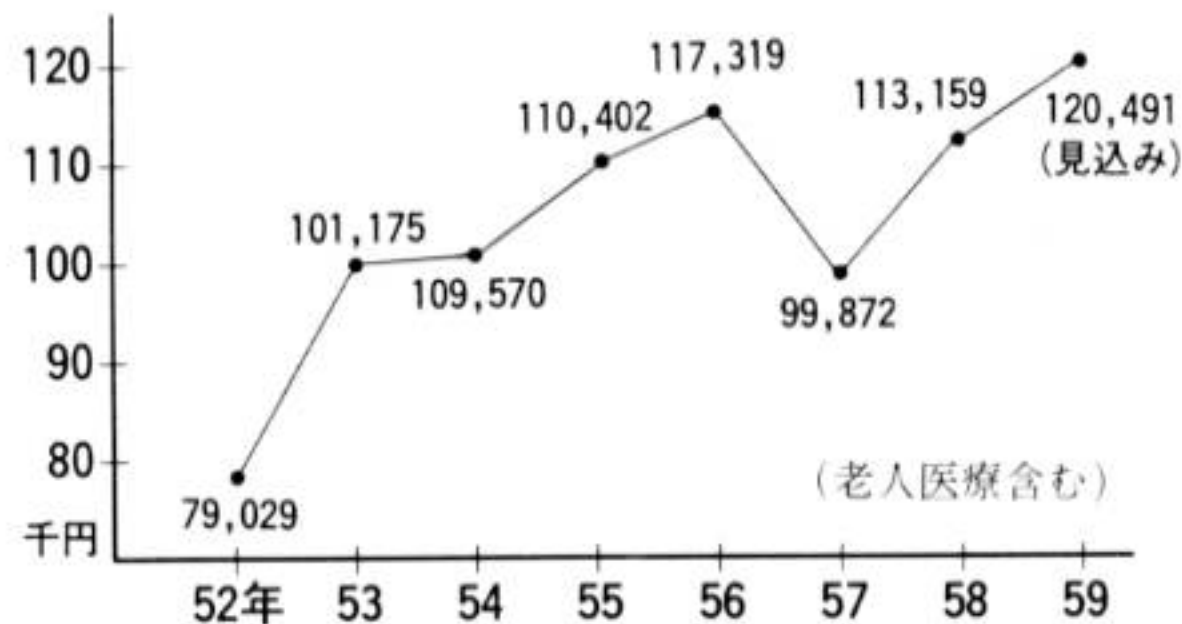
昭和58年度に町から医療機関に支払われた医療費（7割分）は、2億4千万円余りで、国民健康保

険（国保）加入者1人当りにかかった医療費は、11万3千円となっています。また、国保加入者が町



1人当り保険税推移

1人当り医療費推移





自治会別1人当り医療費 (S 58国保医療統計)

順位	自治会名	国保加入者数	金額(円)
1	高 村	43 ^人	2,895
2	下 吹	42	3,138
3	岩 館	75	4,055
4	五 海 保	63	4,154
5	黒 沢	86	4,244
6	畑 村	29	4,281
7	宿	122	4,345
8	袖 山	88	4,382
9	桂 台	26	4,629
10	館 西	54	5,070

53	野 田	38	11,713
54	家 の 下	53	14,672
55	杉 森	47	16,962
56	中 通	43	17,239
57	須 郷	34	17,969
58	板 戸	52	18,276
59	八 日 町	49	19,002
60	黒 沢	32	19,066
61	島	47	22,986
62	茂 沢	16	46,864

(老保含)

に支払った保険税は、1世帯当たり平均で、98、778円、1人当りでは、26、229円となっている。

町が7月の診療分を対象に行つた昭和58年度国保医療統計によると、国保加入者1人当たりの医療費(歯科診療、老人保健医療を除く)は、

2人に1人が診療

こうした医療費の実態のなか、健康診断の受診状況に目を向けてみると、30歳以上を対象に昨年行つた循環器検診では、最も受診率の高いのが90台の高村、泡の沢、智者鶴、八日町で、低いのが40台以下の茂沢、畑村、高屋と、その

います。医療費は、診療を受けた人が3割を負担するほか、7割分は国の補助金と保険税でまかなわれていますが、昨年10月に退職者医療制度が発足したことにより、国の補助金が減額改正され、そのしわ寄せが来年度の保険税へ向けられることが必至となっています。

検診が医療費に影響

くは8、369円で、受診率が53%と、2人に1人が何らかの形で医師の治療を受けていることがわかりました。これを自治会別に見てみると、最も少ないのが高村、

次いで下吹、岩館の順。また多い方では茂沢、島、黒沢の順で、医療費の多い要因としては、入院による診療が大きなものとなっているようです。

自治会別循環器検診受診率

(S 59・7～8月実施)

順位	自治会名	対象者数	受診率(%)
1	高 村	31 ^人	97
2	泡 の 沢	27	96
2	智 者 鶴	25	96
4	八 日 町	44	95
5	新 沢	35	89
6	寺 田	66	86
7	横 渡	86	85
8	蔵	100	84
8	宇 戸 坂	64	84
10	館合新田	112	83

53	舟 木	71	58
54	須 郷	20	55
55	下 通	132	54
56	大 台	36	50
57	上 通	67	49
58	杉 森	38	47
59	上 里	62	39
60	高 屋	37	34
61	畑 村	20	30
62	茂 沢	14	29

医療費を増やす

「成人病」

それではここで、病気から医療費の内容を具体的にみてみます。わたしたちが医者にかかる病気のなかで最も多いのがカゼで、1回カゼをひくと、ある程度治るま

(4ページへ続く)

自治会別胃がん検診受診率

(S 59・6月実施)

順位	自治会名	対象人数	受診率(%)
1	高 村	32 ^人	66
2	向 田	37	59
3	泡 の 渕	30	57
4	智 者 鶴	29	55
5	土 場 沢	35	54
6	高 戸 屋	29	52
7	黒 沢	37	51
7	蔵 新 田	131	51
9	奥 ケ 沢	6	50
10	寺 田	71	49

53	小 倉	88	23
54	杉 森	42	21
55	畑 村	21	19
56	高 屋	40	18
56	黒 渕	77	18
58	島	41	17
59	祝 沢	55	16
60	板 戸	37	11
61	松 柴	61	10
62	沼	35	9

さて、かかってしまうとばく大な費用がかかり、生命をも失いかねない胃がんの検診を受けた人はどれくらいいるのでしょうか……

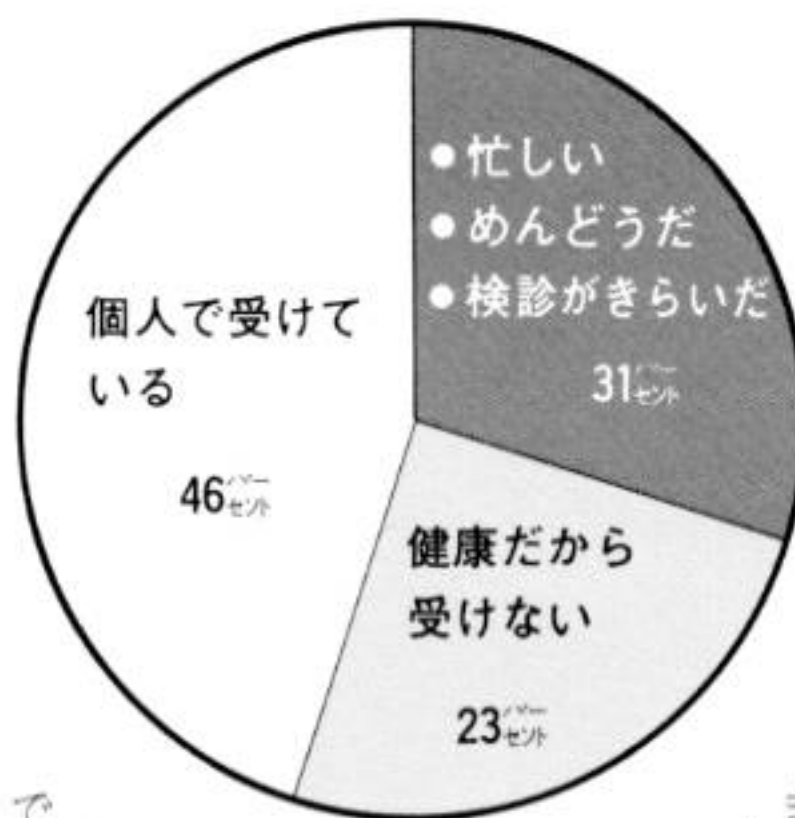
昨年胃がん検診の対象となった人は4,002人でしたが、実際に受診した人は30人の1,187人でした。この受診率を自治会別に見てみると別表のようになります。

町では、こうした少ない胃がん検診の実態を調査するため、先ごろアンケート調査を行いました。

この結果、回答のあった1,990人(回答率56%)中、検診を受けなかったと答えた730人の回

胃がん検診アンケート結果

(S 59・7月実施)



ではありませんか。

そして日常の健康への気くばりでくい止めよう

ふくらむ医療費、保険税を、病気の早期発見、早期治療、

ば、安い医療費で早く治療できます。そのため

の必要最小限度の心がけが「健康診断」だといえます。

低い検診への意識

(前ページから)

で約5,000円の医療費がかかるといわれています。これは1人当たりが納める保険税の2か月分以上にも相当する金額になります。

また、金額の大きい「成人病」のうち、本町に多くみられる脳卒中の重い症状の場合は、発病当初から1か月間は約4百35万円、以後月平均36万円の医療費を要する

とされています。

また、近年増加傾向にある胃がんの末期症状の場合でも、発病から1か月の間に約170万円もの医療費を要するとされ、こうした病気や、長期の入院を要する病気が医療費をふくらませ、保険税への影響を大きくしていると思われます。

検診は必要最少

限度の心がけ

どうだ、検診がきらいだ等の消極的な内容の回答が31%となっており、こうした結果からも検診への意識の低さがうかがわれます。

健康に絶対の自信をもっている人がある日突然倒れ、以後寝たきりの病人になってしまうことがよくあります。こうしたことは、医療費を高め、保険税の負担を大きくするだけでなく、家庭や社会へも大きな影響を与えます。

病気はいつおとずれるかわかり

ませんが、早期に発見すれば、安い医療費で早く治療

できます。そのため必要最小限度の心がけが「健康診断」だといえます。

元気ですか
保健婦です

⑦

この冬「暖かい生活」してますか

暖冬の子報もみごとに裏切られ、真冬日の多い毎日の暮らしの中で、それぞれの方が寒さを乗り越えるために、知恵を出しておられるようです。

私たちの体は、機械と同じように精密な仕組みによってできています。絶えず体内でエンジンを動かし、体温を維持しています。寒さにあうと皮膚に近い末梢血管は、すかさず縮まり同時に心臓の働きが強まって汗腺が閉じられ熱の蓄われるのを防ぎます。しかし、中年以上、特に高齢者の場合は、すべての機能が衰えているので寒さに敏感に対応できず、体の熱はどんどん蓄われてしまいます。そして、血圧だけが上がりま

す。これが脳卒中の誘因ともなるわけです。

昔からの習慣だからと、暖かい床の中から飛び起きて、いきなり冷たい水で顔を洗ったり、洗濯や水仕事で長時間にわたり手を直接水にさらして

いませんか?。血圧は、暑さに対してはさほど心配はいりませんが寒さには敏感ですから充分気をつけたいものです。家の中の保温においても、燃料費を考えるとたいへんなわけですが、居間や台所のみでなく、寝室や子ども部屋はもちろん、これからは洗面所やトイレなどの各室内への暖房も取り入れたいものです。

日本の家は世界一寒いといわれています。秋田より北海道の方が激しい寒さであっても、脳卒中の発症が少ないのは、やはり温度変化の差をなくした住居の工夫からともいえるでしょう。そして、外出の際は、ただむやみに厚着するのではなく、「空気を上手に着る」工夫も考えたいものです。

また、外から避けるだけでなく、寒い冬の夜は、鍋ものなどを家族みんなで囲んでみてはいかがでしょう。部屋の中はもちろん、身も心も暖まりはしないでしょうか。

家族の一人一人が元気で暮らせることが何よりも幸せなことです。病気は知らないところからある日突然やってきます。小さなことのくりかえしが健康を左右するのです。元気で長生きするために、みんなで話し合ひましょう。(保健婦・伊東志津子)

ついに「無火災」を記録



「無火災」達成で喜びのスタートを切った出初式

本町が念願の1年間「無火災」の記録をつくりました。これは、広域圏消防組合（昭和45年設置）発足以来とされています。

火災は、昭和58年9月29日に起きた火事以来発生しておらず、昨年同期で365日間の無火災を記録、本年1月1日をもって実質の、年間無火災の記録が達成したものです。

全県下でこうした記録は本町を含め7か町村で、しかも1月1日現在では仙北郡の仙南村に次ぐ無火災継続日数をもつものです。この誇りある記録を町民みんなで喜び、今後も注意し合って、記録をのばしましょう。

喜びの出初式で新たな誓い

無火災の記録が達成し、喜びのなか、新春恒例の出初式が1月6日高瀬小体育館で行われました。会場には町消防団員をはじめ、200人余りが参集。式では畠山町長が「無火災の記録達成は、広域消防が始まって以来の出来事。新年を迎え喜びのスタートを切るこ

とができた。今後も消防精神を堅持し、誇りと名譽を持って町民の財産と生命を守るための精進をお願いする」と告辞。身を刺すような寒さのなか、キリリと引き締まった面持ちの参集者は、無火災の

喜びを胸に、その継続と防災への誓いを新たにしました。

のばそう無火災記録

無火災の記録は、町民一人ひとりの日ごろの心がけの成果であり、今後も無火災の記録を継続していくためには、町民一人ひとりの火災に対するより以上の注意を必要とします。

火災はちょっとした不注意から起こり、財産だけでなく生命までも奪います。特に冬は火気を最大限に使用することから、細心の気くばりが必要です。火事を起こさないために特に、家庭の主婦や職場の責任者は口うるさいほどの注意をうながすなどして、生命や財産を火災から守りましょう。

昭和60年度東由利町消防出初式受賞者

秋 田 県 知 事 表 彰				5 分団団員 佐藤 利一				「無火災の記録達成は、広 始まって以来の出来事。新 え喜びのスタートを切るこ きた。今後も消防精神を堅 誇りと名譽を持って町民の 生命を守るための精進をお る」と告辞。身を刺すよう のなか、キリリと引き締ま 持ちの参集者は、無火災の													
35年勤続章 団 長 佐藤 力 30年勤続章 副 団 長 石渡 力造 " " 小松 正幸 有 功 章 第2副団長 莊野 洋一 " 第1副団長 佐藤 正志				東由利町消防団長表彰																	
秋田県消防協会会長表彰				甲 種 精 勤 章	4 分団団員	小笠原 均	乙 種 精 勤 章	3 分団団員	小野啓二郎	団 員	前副分団長	高橋 義男									
勤 続 章 (15年)	2 分団部長	小松 義嗣	1 " "		渡辺 健二	2 " "		菊地 章	前 団 員		木島 俊悦										
	5 分団班長	鈴木 文一	2 " "		小松 幸男	2 " "		畑山 一広	" "	小野 恭夫											
	5 分団団員	遠藤 明夫	2 " "		遠藤 信広	2 " "		大庭 義信	" "	菊地 賢一											
精 勤 章 (10年)	2 分団班長	畑山 喜広	3 " "		高橋 一夫	2 " "		大庭 義博	消 防 施 設 協 力 地 者	老 館 向 大 蔵 高	方 合 田 琴 田 屋	佐々木 儀助									
	1 分団団員	小野 保	4 " "		長谷山久志	3 " "		小松 平栄		消防協会本荘市由利郡支部長感謝状	退職団員前副団長 梅津 栄一										
	2 " "	工藤 一郎	5 " "		遠藤 基雄	4 " "		石綿 工 薫				退職団員前副団長 梅津 栄一									
	4 " "	小笠原豊和	5 " "		鈴木 和雄	4 " "		遠藤 熊雄													
5 " "		5 " "	鈴木 文一		5 " "	大庭 忠幸		退職団員前副団長 梅津 栄一													
東 由 利 町 長 表 彰					模 範 団 員	5 分団班長		大庭 信弥	町民一人ひとりの												
模 範 団 員	1 分団団員	三浦 良男	2 分団班長	小松 宣夫		2 分団団員	遠藤 幸男	2 " "	大庭 隆	2 " "	小松 俊一	3 分団班長	佐藤 周一	4 分団団員	小笠原豊和	4 " "	伊東 国広	4 " "	阿部 陽悦	5 " "	石綿喜代隆
	1 " "	佐藤 一二	2 分団班長	小松 宣夫		2 分団団員	遠藤 幸男	2 " "	大庭 隆	2 " "	小松 俊一	3 分団班長	佐藤 周一	4 分団団員	小笠原豊和	4 " "	伊東 国広	4 " "	阿部 陽悦	5 " "	石綿喜代隆
	2 分団班長	小松 宣夫	2 分団団員	遠藤 幸男		2 " "	大庭 隆	2 " "	小松 俊一	3 分団班長	佐藤 周一	4 分団団員	小笠原豊和	4 " "	伊東 国広	4 " "	阿部 陽悦	5 " "	石綿喜代隆		
	2 分団班長	小松 宣夫	2 分団団員	遠藤 幸男		2 " "	大庭 隆	2 " "	小松 俊一	3 分団班長	佐藤 周一	4 分団団員	小笠原豊和	4 " "	伊東 国広	4 " "	阿部 陽悦	5 " "	石綿喜代隆		
	2 分団班長	小松 宣夫	2 分団団員	遠藤 幸男		2 " "	大庭 隆	2 " "	小松 俊一	3 分団班長	佐藤 周一	4 分団団員	小笠原豊和	4 " "	伊東 国広	4 " "	阿部 陽悦	5 " "	石綿喜代隆		
	2 分団班長	小松 宣夫	2 分団団員	遠藤 幸男		2 " "	大庭 隆	2 " "	小松 俊一	3 分団班長	佐藤 周一	4 分団団員	小笠原豊和	4 " "	伊東 国広	4 " "	阿部 陽悦	5 " "	石綿喜代隆		
	2 分団班長	小松 宣夫	2 分団団員	遠藤 幸男		2 " "	大庭 隆	2 " "	小松 俊一	3 分団班長	佐藤 周一	4 分団団員	小笠原豊和	4 " "	伊東 国広	4 " "	阿部 陽悦	5 " "	石綿喜代隆		
	2 分団班長	小松 宣夫	2 分団団員	遠藤 幸男		2 " "	大庭 隆	2 " "	小松 俊一	3 分団班長	佐藤 周一	4 分団団員	小笠原豊和	4 " "	伊東 国広	4 " "	阿部 陽悦	5 " "	石綿喜代隆		
	2 分団班長	小松 宣夫	2 分団団員	遠藤 幸男		2 " "	大庭 隆	2 " "	小松 俊一	3 分団班長	佐藤 周一	4 分団団員	小笠原豊和	4 " "	伊東 国広	4 " "	阿部 陽悦	5 " "	石綿喜代隆		
2 分団班長	小松 宣夫	2 分団団員	遠藤 幸男	2 " "	大庭 隆	2 " "	小松 俊一	3 分団班長	佐藤 周一	4 分団団員	小笠原豊和	4 " "	伊東 国広	4 " "	阿部 陽悦	5 " "	石綿喜代隆				

転作は8ヘクタール緩和

他用途米が
30キロ単位に

転作率は
12.4パーセント

昭和60年度に配分された転作目標面積は、59年度より8ヘクタール少なく、限度数量では、778ヘクタール増えたものになっています。

また60年度では青刈り稲が解消されます。これは、これまでの実績から、有畜農家率と利用度が低く、転作田の有効利用の観点からも作付けを解消するもので、これにより、他用途米へ傾斜配分され、他用途米が59年度より277ヘクタール増えた1,730ヘクタールとなりました。

転作面積の配分率は、59年度当初で限度数量の配分を受けた農家については一率12・4パーセント、配分を受けなかった、いわゆる飯米農家については一率14・1パーセントで配分されることになっています。



水田再編対策自治会代表者会議（1月18日）

「青刈り稲」を解消

昭和60年度の転作目標面積と、政府売渡申込限度数量がこのほど県から示され、本町には転作目標面積164ヘクタール（内19・6ヘクタールは他用途利用米）、限度数量77・547ヘクタールが配分されました。

これを受けた町は、12月27日に配分方法や推進方法などについて水田利用再編対策協議会に諮り、その結果をもつて、先月18日に開催した自治会代表者会議で農家別明細を添え、各集落別に転作等目標面積、他用途利用米数量を示し、理解と協力をお願いしました。

転作の課題をひろう

町農業総合指導センターでは、昨年度の転作関係の推進にあたり次のような反省点をあげ、60年度以降の課題とすることになっています。

昭和59年度より水田再編第3期対策が始まり、新たに他用途利用米制度が導入され、しかも異常気象下という、混乱のなかで出発した。

一般作物については、飼料作物が全体の約3分の2を占め、畜産の振興に寄与しているが、反面、青刈り稲の占める割合は5割と少ないものの、その有畜農家率は約3分の1と低く、無家畜農家の他作目への移行指導が必要である。

転作田団地化の推進

野菜類については、作目が多岐にわたり、しかも小面積のために自給野菜的な栽培が多く、商品的な栽培の定着化に至っていない。

天候は、稲作については有年に推移していったが、畑作物にとつては7月下旬より1か月以上も雨らしい雨がなく、気温も高温で、夏まけや日焼けの被害が発生した。

作物の選定と作付け推進

いこと等により、団地化の推進が進んでいない状況にある。今後は、農地の流動化の促進や共同作業の推進で、積極的に推進していかなければならない。

換金できる作物を主体に継続的な作付けの指導を行っているが、単年度で作目が変わり、定着化していないのが現状であり、意欲的な農家の濃密指導を徹底していかなければならない。

単位当り収穫量の増大

普及所、農協等の指導による栽培技術の確立に努めなければならない。



町長の談話室

島山亮二郎

「克雪と

流雪溝」

わが町は豪雪地帯。今年も厳しい雪とのたたかいの季節となった。かつては、交通の確保もむずかしく、雪に埋れた中で暮さなければならず、いわゆる冬ごもりに備え、知恵をはたらか

しながらの生活であった。また、雪が原因の障害には、地域ぐるみで力を合わせて対処する習慣が形づくられていた。

今日では、モータリゼーションの進展により、生活行動圏も広くなり、また、住民意識も変わり、かつてのような、自らの地域はみんな力で合わせて守ろうという、雪国の地域社会体制の美風が次第に失われつつあることがまことに残念に思われる。

大自然の雪も生活上の大きな災害としてとらえられるように

「明日の農業を考えるつどい」を開催

これには、山形県農業試験場等で、ササニシキの多収技術と、農家の取り組み方について研修した

し、意見の交換を行いました。

研修内容と、状況等について発表したそれぞれの代表者はいずれも、研修地における農家の経営意欲の大きさや、農家と指導機関に信頼関係が確立していることに感銘を受けたこと等を報告、自らの経営姿勢の見直し等についての意見を述べ合っていました。

主催した町農業総合指導センタ―では、こうした話し合いを今後も続け、農業後継者が自信と意欲をもつてたずさわることのできる農業の確立の一助にしたいと話していました。

のきれいになった生活環境を見ただけでうらやむ人が多い。そこに至るまでの努力が大変である。一家を支える主人が出稼ぎで留守、そのあとを守る家庭の主婦と年老いた方々、そして子供までが動員されて、早朝5時半頃から除雪作業に入り、出勤時間直前の約1時間半にわたる除雪作業。見事なまでの汗と共同作業が連日繰り返されているこの実際の作業現場を見ている町民は案外少ないのではないかと思われる。

そして、町民一人ひとりが雪国に住むという意識の原点と、主体的な自覚を持つことが最も大事ではないだろうかと考える。

さて、快適な生活環境を求め、ための行政需要のひとつの施策として流雪溝への町民の期待が大きい。

今年もその流雪溝をフルに活用する季節がやってきた。

大琴自治会の流雪溝は今、すばらしい効果をあげている。だがその効果は、地域住民の結束した共同責任による作業と、一致協力した地域自治意識に支えられ、そして過酷なまでの汗と努力による成果であることをみのがしてはならない。

大琴自治会をうらやむ声が多い。しかし、除雪が終ったあと

今 地域の要望に応え、蔵と老方地区の流雪溝の工事が進んでいる。やがては、館合地区にもと考えている。だが、完成された時に待っているのは、大琴自治会の例にもれず、かつて先人達が実践してきた厳しい自然環境を自らのものとしてとらえ地域全体の地域自治責任としての、うるわしいまでの共同責任による一致協力作業であること。を今から自覚しておく必要がある。ろうかと考える。

今春の新学期予定児童は、八塩小学校22人、高瀬小学校36人、大琴小学校17人の計75人となっています。すでに健康診断や知能検査も終え、心もからだも、もう1年生気分。みんな春を待ち遠しく思っていることでしょう。今春「ピッカピカの1年生」になる子どもたちを紹介します。

《地下の沢》——渡辺 靖

高橋 潤	小林由紀子	長谷山郁子
畠山 正人	佐藤 隆介	〔祝 沢〕
〔新 町〕	〔中 通〕	佐藤 善輝
石川 朗子	小野 智樹	佐藤 清晃
遠藤 陽子	佐藤 ゆみ	〔上 里〕
今野 和人	〔下 通〕	小野 明浩
志村 梨香	小野 一恵	〔横 渡〕
畠山 智子	柿崎 大	伊東 裕美

木島 弥生	高橋 惠
《藏》	《袖山》
阿部美穂子	佐藤 一祝
渡邊 兼隆	《大琴》
《藏新田》	阿部 忍
伊東 蘭	浅田 智広
小笠原瑠美子	梅津 美穂
小笠原隼人	遠藤 光代

宮塚真由子	《湯出野》	小笠原秀和
守屋信之助	小松 哲広	《岩 館》
《上 通》	佐藤 香織	阿部 毅敏

齋藤 和也
佐々木 静恵
佐々木 広子

畑山 裕司
佐々木 静恵
佐々木 広子



新入生

工藤 大樹 大庭 清人
佐藤 裕 大庭志穂子
《新処》
《土場沢》



春を待つ

遠藤 友和	遠藤 和幸	小倉 小笠原美喜
鈴木 稯	宿	

」を受け、

千葉久美子
《高村》

石綿 和洋
木島あゆみ
《大台》



健康診断

工藤小百合	《大吹川》	畠山 広喜
鈴木のり子	《奥ヶ沢》	近江 真也



「健康診断」を受け、春を待つ新入生



早朝の大琴地区除雪風景

まちの話題

1月7日、高瀬小の体育館で、「老人と子どものつどい」が行われました。これは、町教委が、ことぶき大学の学生と、町内小学校4年生を対象に毎年行っているもので、いまでは老人と子どもの行事としてすっかり定着。ワラ工品やお手玉づくりで郷土愛を深めながら、ゲームで老人と子どものふれあいを築きあげるといった意義深いものになっています。この日は150人余りが参加し、子どもたちがお年寄りの親切な指導を受け、縄ないやお手玉のほかワラぞうりづくりにも挑戦。ゲームでは、子

ワラぞうりにも挑戦

どもたちに負けまいと、気持ちを若返えらせハッスルするお年寄りもいました。



お年寄りから指導を受け、真剣に縄なひをする子どもたち

老人と子どものつどい

準備がすすむ

認可後に職員募集



特養ホーム

町では、昭和60年度の重要施策として「特別養護老人ホーム」の建設を計画、現在県より内示と指導をうけ、建設の準備が着々と進められています。

同施設の建設場所は、立地条件や社会的要件から、旧蔵小跡地とすることが決定されており、校舎の解体や周辺用地の取得がすでに行われているほか、建設の基本設計も、このほど行われた設計6業社による「コンペ」で決定、国からの正式な認可を待つばかりとなっています。

特別養護老人ホームは、常時介護を必要とする老人が入所する施設で、県内ではこれまで29施設が建設されており、由利郡内では、岩城町道川の「広洋苑」

(49年建設)、本荘市水林の「萬生苑」(57年建設)があります。本町に建設が予定されている特別養護老人ホームは、鉄筋コンクリート平屋建(一部木造平屋)で、約1、510平方メートル。収容人数は50人で、4人部屋が12室、2人部屋が1室設けられるほか、データーサービス用の部屋が2室準備されます。

また、施設には、看護婦、寮母、栄養士、調理員その他、計23人の職員が必要となっています。同施設の正式な認可は60年度早期とみられており、認可と同時に工事着工、61年4月1日に開設する予定です。また、職員の募集は、認可後8月をメドに行われる予定です。

新春に広げよう 地区の「和」

大琴地区で家庭バレー



地区の和を広げる大琴地区の家庭バレーボール大会

大琴自治会(佐々木一郎会長)では、新年早々の1月5日、恒例の地区家庭バレーボール大会を行いました。

これは、地区住民の親睦を深めるため6年前から行っているもので、この日は応援団を含め5チーム、100人余りが参加。外は吹雪まじりの寒い空模様でしたが、会場の大琴小体育館では、好プレー、珍プレーの続出し、拍手と笑いの渦が巻き、熱気を漂わせていました。

雪まつりを大平で!

楽しい企画がいっぱい

寒くて長い冬。雪の祭典で気分を盛り上げよう。と、このほど「雪まつり」が計画されました。

これは、町公民館、町商工会青年婦人部、町連合青年会らが一丸となって、大平スキー場を会場に2月16、17日の2日間行うもので、雪像コンクール、スキー大会、おしるこ・あまざけコーナーのほか、町連合青年会独自による、ピールの早飲み大会、雪上つな

入寮生募集

東京女子学生寮(友愛学寮)で、入寮生を募集集中です。問い合わせは、03-3302-6361・小山田達まで

新春将棋大会

新春将棋大会が、1月3日に朋楽荘で行われ、22人が参加、熱戦の結果次の方々が上位入賞を果たしました。(敬称略)

- A級優勝 小野裕明(宿)
- 準優勝 大庭幹男(雄物川町)
- 第3位 佐々木提四郎(〃)
- B級優勝 柏木 謙(秋田市)
- 準優勝 佐々木照雄(雄物川町)
- 第3位 佐々木義隆(〃)

第6回囲碁大会

第6回囲碁大会が、1月20日に役場の和室で行われ、11人が参加、次の方々が入賞しました。

優勝 小松久男(宮の前)

準優勝 小松佳和(田代)

(敬称略)

税金の申告相談は次の日程で

税金の申告相談を次の日程で行います。申告書は、町・県民税等の賦課資料となる大事なものです。昭和59年中の収入明細や支払証明書等を準備し、正しい申告をしましょう。出稼ぎ者や会社員等で勤務先から源泉徴収票を交付されている方は、確定申告をすることによって、納め過ぎた所得税が戻されることもあります。詳しくは、税務係にお尋ねください。

受付時間			午前(9時から11時まで)		午後(1時から3時まで)	
月	日	曜	自治会名	会場	自治会名	会場
2	14	木	向田、智者鶴 (松台除く)	向田会館	葎沢、黒淵、 地下ノ沢	八塩館
			泡ノ淵、松台	泡ノ淵会館		
	15	金	田代、石高	住吉会館	高戸屋、下小屋、 時雨山	住吉会館
	18	月	三税共同申告 相談	有鄰館	午前と同じ	有鄰館
	19	火	新 沢	会 館	須郷田	児 童 館
			松 柴	会 館	板 戸	会 館
	20	水	家ノ下、下小路、 宇戸坂、館西	玉米支所	八日町、五海保、 山崎、久保	玉米支所
	21	木	所得税	役 場	午前と同じ	役 場
	22	金	所得税	役 場	午前と同じ	役 場
	25	月	下通、湯出野、 寺田、茂沢、上里	役 場	新町、横小路、 上通、中通	役 場
	26	火	黒沢、大台	会 館		
			横渡、岩館	大蔵館		
	27	水	小 倉	児 童 館	中ノ沢、高村	小 倉 倉 庫
			野田、新処	克 雪 センター	十二ノ前、桂台	克 雪 センター
3	1	金	祝 沢	会 館	宿	会 館
			袖 山	児 童 館	下 吹	会 館
			沼	分 校	杉 森	会 館
	4	月	館合新田	会 館		
			須 郷	会 長 宅		
			高 屋	会 館		
	5	火	舟木、畑村、 奥ヶ沢	舟木会館		
			大琴(上・中)	高 瀬 館		
	6	水	所得税	役 場	所得税	役 場
	6	水	所得税	役 場	所得税	役 場

まちの話題

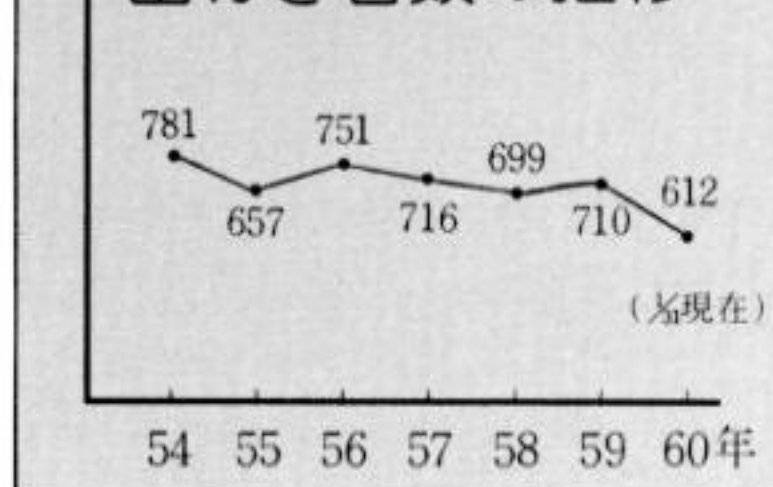
出稼ぎ者 100人近い減少

今年の出稼ぎ者は1月末現在で、612人。2月以降出稼ぎに出かける人はほとんどいないとみられることから、昨年より100人近い減少が見込まれています。こうした出稼ぎ者の減少には、さまざまな社会的要因が考えられますが、誘致企業「秋田信英」への就労や、その波及効果などによる影響も大きな要因として考えられています。

出稼ぎ者懇談会17日に!

今年も町出稼ぎ者激励懇談会が2月17日(日)に行われます。会場は、東京・霞ヶ丘町の「日本青年館」で東京近郊の出稼ぎ者のほか、東京東由利会員らも出席し、親睦を深めることにしています。

出稼ぎ者数の推移



安全になった交差点

でも十分な注意が必要です

老方バイパス交差点にこのほど信号機が設置され、交通事故防止に大きな役割を果たしています。

これまでは事故が多発、特に冬期間は視界が悪く危険な状態となっていました。この設置



老方バイパスに設置された信号機

雪道は危険がいっぱい

- まず、車の点検、整備を
- シートベルトを忘れずに
- スピードは控え目に
- 余裕のある運転を

により、台山方面、横小路方面から通行する車が安心して通れるようになりました。しかし、まだ慣れないこともあり、信号無視による事故も考えられますので、通行には十分注意が必要です。

高瀬小児童 5人が入賞

秋田県農協中央会が行った、第9回秋田県「こはんとわたし」図画・作文コンクールで、高瀬小の児童5人が入賞しました。入賞はいずれも図画第1部の秋田県農協中央会会長賞で、次のとおりです。(敬称略)

- 〔優良賞〕
古川久美子(高瀬小1年)
阿部 等 (〃 2年)
〔佳作〕
遠藤由美子(高瀬小2年)
工藤 智恵 (〃 2年)
小野 鉄也 (〃 1年)

御嶽神社のぼん天奉納



各戸の玄関に、がんしょう板をぶつけ、家内安全を祈願してあるいた。

第4回「健康大学」

今年度4回目の「健康大学」が、1月19日に有隣館で開かれ、秋田大学助教授の茂泉陽子先生のユニークな講話と健康体操の指導で、100人余りの婦人が楽しく学習しました。



講師のジョークで笑いながらの健康体操。「笑いは百薬の長です」と講師…

**エネルギーの無駄遣いはか
していません**

2月は省エネルギー月間

最近のエネルギー情勢は落ち着いており、今のところ、灯油不足などをきたす心配はありません。しかし、省エネルギーの目的は、わが国のエネルギー基盤の不安定さを克服していくことにあります。また、地球の資源や環境を守るためにも、省エネルギーはたいへん大切なことです。

この冬も、「省エネは、いまの

老方地区の伝統的な冬祭り、「御嶽神社ぼん天奉納」が、1月5日「ジョヤサ、ジョヤサ」の掛け声も勇ましく、にぎやかに行われました。この日は、おそろいのはんてんを着込んだ子供たちのえびす俵も出され、祭りを一層盛り上げました。



スポーツ少年団交流会



雪国の子らしく、スキーはみんなおてのもの。でも、スタートではみんな緊張していましたよ。

スキー競技を主とした、町スポーツ少年団交流会が、1月11日に大平スキー場で行われ、日ごろ各学校のスキー教室で鍛えた技を出し合い、友情の和を広げました。

ねんきん^⑦ つうしん

年金改正案衆議院を通過

全国民共通の基礎年金導入を軸とした国民年金法等改正案が衆議院で可決、今後参議院の審議を経て改正法案が成立すれば、61年4月から施行される予定です。

現在の国民年金制度は、国民年金と厚生年金・船員保険に共通する「基礎年金」を支給する制度にかわります。これにより各制度で生じているいくつかの問題点が解決、長期的に安定した制度体制の確立をねらいとするものです。

基礎年金とは

現在の制度では、農業・商業などの自営業者は国民年金に加入し、会社勤めの人は厚生年金に加入することになっています。さらにサラリーマンの奥さんは国民年金に任意加入できるという仕組みになっています。

今回の改正案では、国民年金の加入者を厚生年金加入者などにも広げるとともに、従来任意加入であったサラリーマンの奥さんについても国民年金に強制加入することとしています。

このように国民年金の対象者を拡大し、各制度共通の基礎年金を支給するというのが今回の改正案の一つの柱です。

民話・その10

み たけ きつね
御嶽山のいたずら狐



お話しと絵は、石渡力造さんによるものです。

むかしむかし、老方の御嶽山の森に一匹のいたずら狐がいました。ときどき里に出てきて人をばかにしたり、畑を荒らしたりするので、みんなは困っていました。村の人たちは集まって「いったいどうしたらとらえることができるだろう」と、相談しましたが首をひねるばかりです。そのとき、九えんさんというお百姓さんが、「みんなどうだろう、泉秀寺の和尚さんに相談をかけたら」と、話をもちかけると、みんなはそれは名案だと、さっそく和尚さんに相談に行きました。

相談をかけられた和尚さんは顔をしかめながら、「困ったなあ、わしも急にうまい考えはうかばないよ」と腕組みをしています。すると、九えんさんが急に明るい顔で、「みなさん、お寺に来て名案がうかんだ、私がいたずら狐をとらえてやろう」と言うと、村のみんなは、「お前なんかにそう簡単につかまるものか」と笑いこころげるのでした。それでも、村の人たちは、日頃から九えんさんには頓智があることを知っていたので、まかせることにしました。

九えんさんは、頭をまるめて泉秀寺のわか小僧になりすまし、夕方になると狐の大好きな油あげと縄を準備し、馬をつれて狐のいる御嶽山の森に出かけました。森についたにわか小僧の九えんさんは、大きな声をあげて、「和尚さん、和尚さんに頼まれた大好きな油あげを持ってきましたよ」と何度も呼びかけました。これを聞いていた例のいたずら狐は、「うーん、よくわからんが、泉秀寺の小僧が和尚を迎えに来たのだな、よし、うまくだまして横取りしてやれ」と、頭に木の葉をのせたかと思うと、どろんぱっと、泉秀寺の和尚に化けました。

「おう、小僧か、よく持ってきてくれた、昼飯も食わなかったから、腹がへって大変だった、ありがとうよ」と、九えんさんのわなとも知らず、のこのこ出てきました。小僧になりすました九えんさんは、「もう遅いから、和尚さん帰りましたよ」と言って油あげを一枚渡しながらか、にせ和尚を馬に乗せました。そして、「和尚さんや、この馬はあばれるくせがあるから、落ちないように縄でしばりますからね」と、九えんさんは逃げられないように縄でかくしばり、そしらぬふりで泉秀寺へ連れてきました。

お寺に着くと、ほんものの和尚さんが出て来て、九えんさんは2人の和尚を見くらべているうちに、あんまり似ているので、どちらがほんものかわからなくなっていました。

「これ小僧、わしがほんもので、もうが狐だぞ」「何をぬかすか、だまされるな小僧、わしがほんものだ、ほれ、よく見ろ」。

すっかり困りはてた九えんさんは、2人をならべて松の葉に火をつけ、盛んに煙でいふしてみましたが、ほんものの和尚さんはべそをかきながら「九えんさん、助けてくれ」と、泣きさげびます。九えんさんは「いくら泣いてもだまされないぞ、早くしっぽを出せ」と、いふしたてます。

それまで、こらえにこらえていたにせ和尚は、とうとうがまんができず、しっぽをあらわし、頓智のよい九えんさんのはからいで、なんなくとらえられてしまいました。 とっぴんからりの山椒の実

暮らしの身だしなみ。つづけていますか、冬の省エネ」をキーワード・フレーズに、冬の省エネルギーを心がけたいものです。特に、2月は寒さが最も厳しく、暖房用などのエネルギーが多く必要とされるため、毎年「省エネルギー月間」とされています。各ご家庭、職場でも、今一度エネルギーが無駄なく効率的に使われているかどうか点検してみましよう。

▼暖房器具は、部屋の大きさに合ったものを使っていますか。ストーブは、燃焼部分や反射板の手入れをよくしていますか。

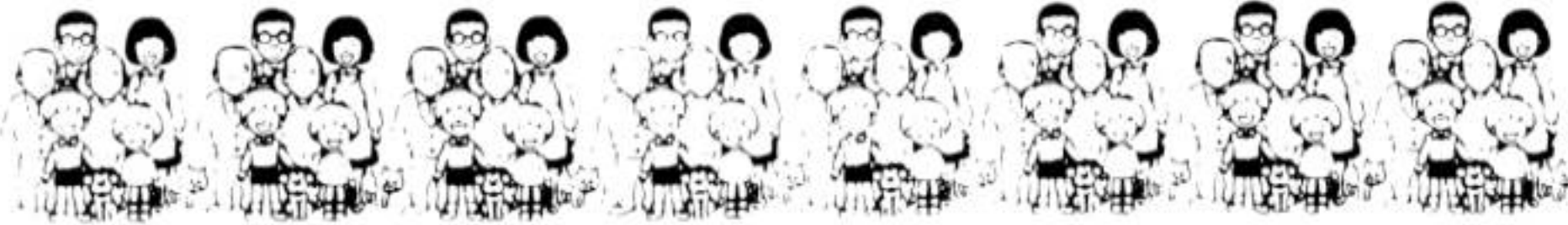
▼カーテンやカーペットを上手に利用して、熱を逃がさないようにしていますか。

▼ドアや窓から、すきま風が入ってきませんか。

▼冬でも太陽が当たればとても暖かくなります。太陽が出ているときは、カーテンを開けるなどして熱を十分に取り入れれば、暖房エネルギーの節約になります。

▼電気こたつは、局部的な暖房として効率的です。こたつ敷きや厚手のこたつ掛けを用いたり、使用しないときにはスイッチをこまめに切ることによって、より無駄なく効率的に使えます。

このほか、暖房器具の置き場所を工夫したり、断熱材の利用を検討するなど、「住まいの暖房の工夫」を家族みんなで話し合ってみてはいかがでしょうか。



みんなのひろば

出稼ぎ先から

みんな元気です

双葉電子(株) 木島忠一



木島さん

ふるさとは大変な寒さのようですが、こちらの方にも、かぜが流行のきざしをみせています。しかし、みんな健康に気をつけ、元気で頑張っています。

いま世界はニューメディア時代を迎え、その一端にたずさわる双葉電子工業(株)も、メカトロニクスの花形であるロボットや、オンライン化の普及により受注が拡大、在庫不足といった生産品の売れ行きを見せています。

ほっけのすし

材料と分量 ほっけ10^キ、下漬用の塩3^キ、酢10^ワ、米2・2^キ(1・5合)、こうじ400^グ、野菜(にんじん、かぶ、キャベツ

佐藤チヤさん

黒 測

ふるさとの味



- しかしながら、社会情勢の変容
- 合わせで) 3^キ、生しように2コ、酒1^ワ、本漬用の塩1^ワ。
- 作り方
- (下漬け) ほっけは頭と内臓と尾を取って、1か月ほど塩漬にする。重石は重いほど(10〜15^キ)よい。(本漬け)
- (1) 下漬けたほっけを3枚におろし、さらに3〜4^サ大に切り、2日ほど水につけ、塩気が少し残る程度に塩抜きをする。
 - (2) (1)をざるにあげ、水気を切る。
 - (3) (2)を、一昼夜酢に浸す。
 - (4) 酢に浸したほっけを水洗いし、
- させていただいております。
- 私もリーダーとして、人の意見に耳を傾ける苦労、忠告はすべてわが身をよける苦勞、忠告はすべてじつつ、全体の調和を破らないよう努力しています。
- 出稼ぎは米に次ぐ収入でもあり、私たちの生活への大きな経済基盤ともなっています。しかし、できることならば地元への就業が望ましいことは言うまでもありません。幸い本町にも大きな企業が進出し、そのメリットは大きいものがあります。私達、中・高齢者の雇用は無理としても、次代を担う若い労働力を完全に吸収できる企業への発展に夢を託すのは私だけではないでしょう。
- あと残すところ2か月余り、健康だけには気をくばり、懐しいふるさとに、元気で帰ることを誓い、出稼先からのご一報とさせていただきます。
- 千葉県茂原市東郷2225
三井東圧富士見社宅235号
- 水気をよく切る。
- (5) 米を炊き、人膚くらいまでさまし、こうじを合わせる。
 - (6) かぶ、にんじんはいちょう切り、キャベツはざく切りにしておく。
 - (7) たるの底に塩とキャベツの葉を敷き、野菜、ご飯、ほっけ、塩、酒の順にくり返して漬けていく。
 - (8) 最後にさらしをかぶせてふたをし、重石をかけておいにする。
 - (9) 3週間くらいで食べられます。おいしく作るには、2〜3日で重い石にかえるのがコツ。

私の赤ちゃん

「むつみ」ちゃんの名前は、文字どおり、睦ましく、心身共に美しい人間に育ってほしい…そんな願いを込め、お父さんの和博さんがつけたそうです。

生まれてからまだ半年ほどしかたっていない睦美ちゃんは、なぜか民謡が大好きで、おじいちゃんの敏夫さんが民謡を唄って聞かせると、声を上げて喜ぶそうです。



久保 睦美ちゃん

59・6・15生まれ

和博さんと順子さんの長女
(写真は和博さん撮影)

われらちびっこ派

⑦

今月の「ちびっこ」は、永慶保育園「月組」からの登場です。

テーマ おおきくなったらなにになりたいの



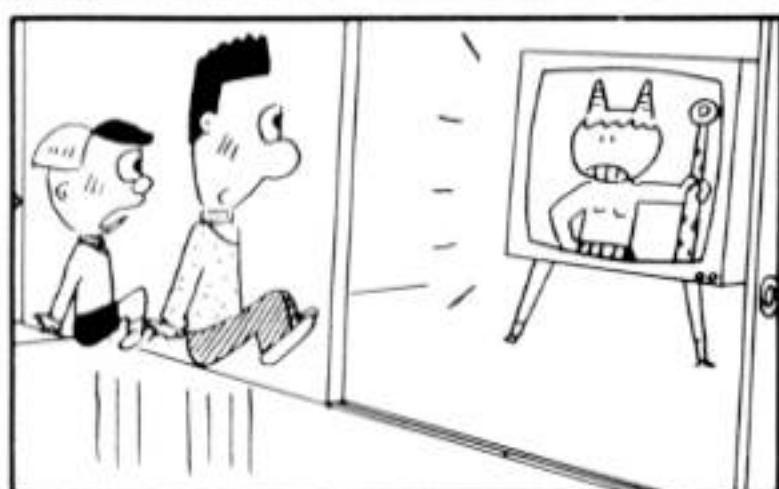
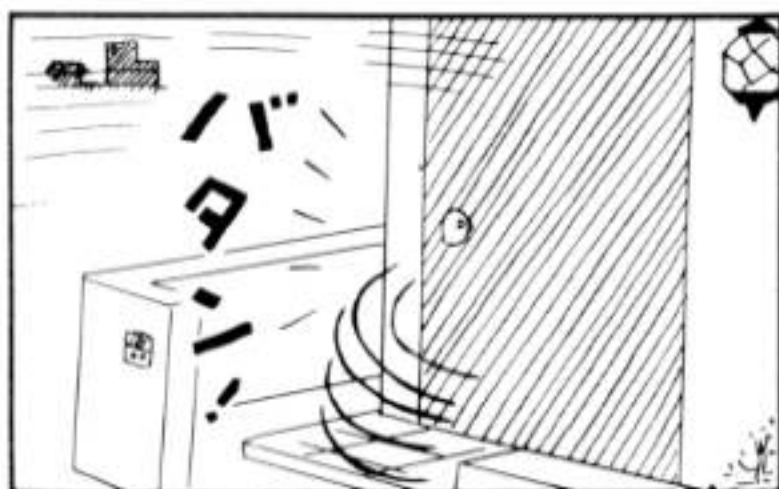
さとう せいこうくん
(6さい・いわいさわ)

えがわみたいなの、ぷろやきゅうの、びつちやーになりたい。

かっこいいもん。

さわやか君

西村 宗



ヤングレポート

⑨

「ヤングのアイドルスター」を
思わせるような、ちょっぴり「2
枚目」の浩人くんでした。

小野次郎さん（上里）の長男で、現在、祖父母、父母
の5人で暮しています。「ただいま恋人募集中」という
浩人くんは、由利アパレル（中通）で縫製の仕事に精を
出していますが、青年会でも活躍しています。

青年会は楽しいですか……今、会報の作成を担当して
いますけど、なかなかおもしろいですね。

自分の信念みたいなものは……ウソをつかないことです。
今いちばんほしいものは……やっぱり恋人。次がお金。
町への要望をひとつ……上里の道路をよくしてほしい。
スポーツは野球と卓球が得意という浩人くんは、オー
トバイに乗るのが好きで、オートバイで日本を一周する
ことが夢とか……。

先程まで陽が出ていたのに突然
吹雪が……今ごろはふるさとの野
山も真白になってるだろうな……
……そんなことを思いうかべながら
ペンを取りました。

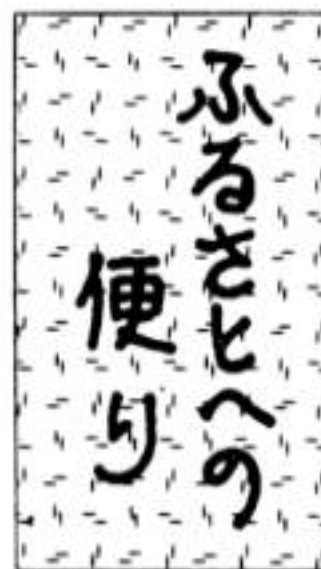
子供のころほとんど自己流で滑
りまくったスキー……今は立派な
スキー場ができたんだっけ。学生
時代冬休みが終り下宿に戻る時は
必至の思いで歩いた国道も、今で
は一年中車で移動できる等、今昔

ふるさとの変貌に 一まつの淋しさも



松脇さん

宇戸坂出身の松脇ケイ子さん
（旧姓高橋・52歳）からお便りを
いただきました。



⑧

比べながら思い出は次から次へと……
帰省する度に目ざましい発展に
驚いたり、喜んだり、ちょっぴり
ジェラシーを感じたり、心境は複
雑。5年前娘を連れて久々の帰省、
早々の失敗を一つ。昔のデコボコ
道を、本荘と玉米間4時間もかけ
て走ったバス時代、今は素晴らしい
道路、ついつい自分の生家への道
を忘れ五海保の上に出てしまい恥
をかきかき逆もどり。

昨秋の帰省では横渡りトンネル
のすばらしさに驚き、帰省の度に
好変する郷里に、間違いもまた楽
しからずやといったところだ。
今度帰省する時は車にしよう。
そして、東京生まれの主人を横に
乗せて、おいに自慢しなければ
と、一人悦に入りながら箱根に戻っ



ひろと
小野浩人くん
上里 (21歳)
39・1・23生まれ

てまいりました。

発展変貌するなかにも一まつの
淋しさを覚えます。秋田でも、本
荘でも、また東由利町でも、かつ
て通った思い出多い学舎が新しく
なり、子供のころの夢が消えて行
きそうに思えてくるのです。今度
帰省するころは、浦島になってし
まうのではないかと心配です。

毎月送られてくる広報で、でき
るかぎり町の情報を頭に入れるよ
う努力したいと思っております。
わがふるさとの益々の発展を祈り
つつ……

さようなら
（松脇さんのお住い▼神奈川県
箱根町元箱根159の22・台糖フ
アイザールペインハウス）

次回はみどり保育園「ひまわり組」のちびっこが登場します。



はたけやま ひろきくん
(5さい・おおふきがわ)

わたしはうたが
すきだから、かし
ゆになつて、みん
なにうたをきかせ
てあげたい。



さとう かおりちゃん
(5さい・ゆでの)

ぼくはゆうびん
やさんになつて、
おともだちに、ね
んがじょうをとど
けてあげたいな。

町民の声を町政に！

町長の面会日今月は21日

今月の本だな

▶雨ふりこぞう▶しかられ
 ぼうずのひみつ▶マルーシャ
 ▶ノウサギの歌▶やまがある
 いたよ▶はたけのともだち
 ▶カムイチャップ▶ガラスの家
 族▶アメリカン・ボーイズ・
 ハンディブック▶アメリカン
 ・ガールズ・ハンディブック
 ▶よみがえれ黄金の島▶子供
 のころ戦争があった▶変動す
 る地球▶科学アルバム・コウ
 モリ▶ジュニア写真動物記ゲ
 ダラヒヒ▶ウルフチャイルド
 ▶日本人と木の文化▶老化は
 なぜおこるか▶NHKお達者
 文芸▶植村直己の冒険を考え
 る▶野鳥歳時記6 真冬の鳥
 ▶写真記録昭和の歴史6▶歴
 史の群像11先駆▶古代エジプ
 トの物語

町公民館図書室に、佐々木
 青洋氏（書家・蔵出身・本荘
 市在住）より「歌集・雪炎」
 を2部、また畠山圭司氏（松
 下精工(株)技術開発センター制
 御技術開発部長・中通出身・
 神奈川県在住）より「PHP」(年
 間講読分)を寄贈いただきました。
 町民のみなさんに広く
 ご愛読いただきたいと思います。
 ありがとうございます。

5年に1回行われる農業セ
 ンサスが、2月1日現在で実
 施されます。これは、農業の
 国勢調査ともいうべきもので、
 昭和55年に行われたセンサス
 以降5年間の農業の移り変り
 をくわしく調べて現在の姿を
 とらえ、昭和60年代の農政に
 指針を与えようとする大切な
 ものです。

本荘税務署では、正しい申
 告をしていただくために、自
 営業者の方等の昭和59年分所
 得税確定申告の相談を次の日
 程で行います。
 申告期限は3月15日までと
 なっていますが、期限間近に
 なる税務署が大変混雑し、
 待ち時間が長くなりますので、

見通しについて・東北大学教授
 水間 豊氏
 参加の申し込みは、懇親会代
 等千円を添え8日まで町畜産係へ。

*
 農業センサスに
 ご協力を！

*
 所得税納税相談
 のお知らせ

されることは全くありません。
 調査員の方が伺います
 ので、よろしくご協力をお願い
 します。

日 時 2月18日(川) 午前9
 時～午後4時
 会 場 有鄰館

*
 畜産講演会
 のお知らせ

雪おろし
 電線・電話線の
 切断事故に注意



今月の行事

8日・婦人学級（克雪センター）
 10日・婦人学級（大蔵館）
 13日・ことぶき大学修了式
 15日・育児学級（有鄰館）
 生活工夫展講演会（有鄰館）
 16～17日・雪まつり（大平スキー場）
 17日・出稼者激励懇談会（東京都）
 19日・健康大学（有鄰館）
 23日・畜産講演会（有鄰館9時～）
 26日・農業委員会

あとでよりいみが大切
 火の始末
 2/28～3/13
 春の全国火災予防運動

戸籍の窓口

(21) 1/20届出・敬称略

うぶ声



小野 徳昭 (男) 勝徳・長男 上里
 小野 季果 (男) 智・長女 蔵新田
 木島 留美 (女) 久一・長女 横渡
 佐野 優子 (女) 拓和・長女 新町
 横山 雄也 (男) 一郎・長男 智鶴
 斎藤 正人 (男) 茂男・長男 石高
 工藤 有起 (男) 正栄・二男 新町
 小野 元太郎 (男) 長一・二男 宿
 小野 公寛 (男) 克弘・三男 上里
 遠藤 裕子 (女) 五男・長女 蔵新田

結婚

小松 肇 高戸屋
 斎藤 幸子 石高
 遠藤 正 (鶴) 新田
 田鎖 洋子 岩手県

おくやみ



阿部イサヨ (47) 孝一・妻 十二ノ前
 小松 順一 (52) タキ・夫 下通

遠藤 優太 (男) 勝・長男 野田
 遠藤 菜々子 (女) 武・長女 小倉

町の統計 1月 (12/1～12/31)

●人口 () 内は前月と比較 () 内は1月からの累計
 ・男 3,069人 (5) ●出生 10人 (84)
 ・女 3,134人 (4) ●死亡 3人 (51)
 ・計 6,203人 (9) ●結婚 2組 (26)
 ●世帯数 1,425世帯 (△1) ●離婚 1組 (6)
 ●ゴミ処理量 28 t (354)
 ●無火災継続日数 459 日
 ●救急車出動回数 9 件 (91)
 ●交通事故 0 件 (11)
 ●交通死亡事故「0」継続日数 1,600 日
 ●総合開発センター「有鄰館」利用者数 1,342人 (20,540)
 ●老人いこいの家「朋楽荘」利用者数 530人 (9,481)